



環境省

小笠原諸島の探検家

令和6年

3月23日(土)～
9月29日(日)

午前10時～午後6時
最終入館は午後5時30分まで

[会期中の休館日]

月・火曜日、7/17(水)、9/18(水)、国民の祝日
ただし5/4(土)、5/5(日)、8/11(日)は開館



無人島図延宝3年潤4月29日 部分(長崎歴史文化博物館収蔵)

鳴谷市左衛門

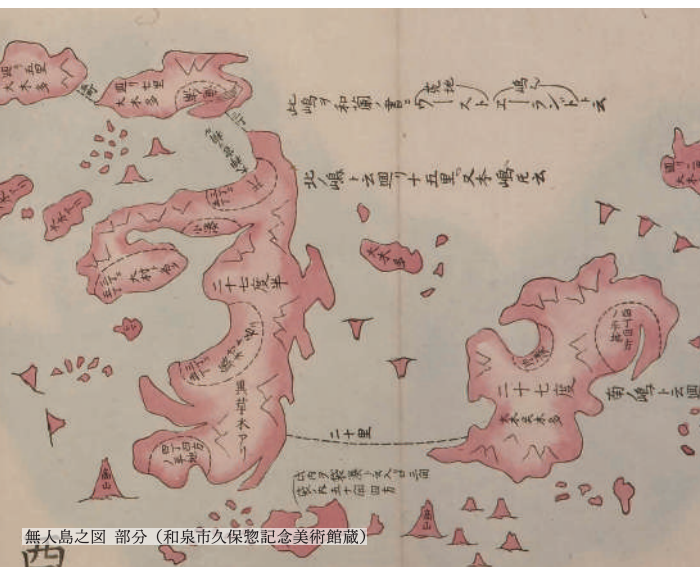


鳥写生図巻第1巻 部分(東京国立博物館所蔵 Image:TNM Image Archives)

一六七〇年、難破した船の乗組員が
とある島にたどり着きました。のちに
小笠原諸島と名付けられるこの島は、
当時は住む人のいない無人島でした。
江戸幕府はこの島の調査に向かうこ
とを決定。選ばれたのが鳴谷市左衛門
でした。

一六七五年、小笠原諸島へたどりつ
いた一行は、島の地図を残し動植物を
持ち帰るなどしました。

この展示では、当時の航海術、島の
地図が与えた後世への影響、現在の小
笠原諸島の動植物などを紹介します。



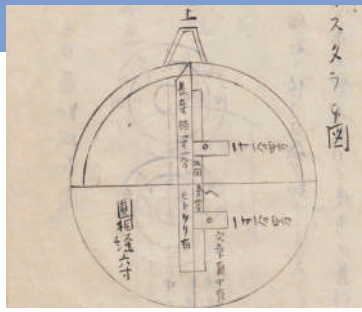
無人島之図 部分(和泉市久保惣記念美術館蔵)



画:高橋秀年

目的地へたどりつく

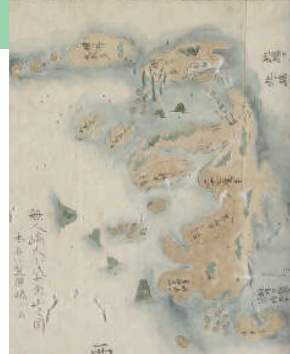
日本人は遠洋航海の方法を西洋から学びました。広い海を、自分の居場所を見失わずに船で探検するとはどういうことなのかを紹介します。



提供：神戸大学海事博物館

地図を残す

嶋谷の作った地図は、海外にも無人島の情報を広めるきっかけとなりました。小笠原諸島がボニン・アイランドと呼ばれる理由がここにあります。



左：無人嶋図延宝3年潤4月29日 部分（長崎歴史文化博物館収蔵）
中：無人嶋大小八十余山之図写 天明5年 部分（長崎歴史文化博物館収蔵）
右：三国通覧余地路程全図 部分（和泉市久保惣記念美術館蔵）

いきものを記録する

嶋谷たちは島の動植物を記録し、日本へと持ち帰りました。現在の小笠原諸島のいきものと当時の記録とを比べて紹介します。



草花魚貝虫類写生図巻10 部分（東京国立博物館所蔵 Image: TNM Image Archives）

協力：松尾龍之介氏（洋学史研究会）、神戸大学海事博物館、小笠原村観光局
資料提供：東京国立博物館、和泉市久保惣記念美術館、長崎歴史文化博物館、小笠原世界遺産センター

探検とは 未知を **探**り **検**べること

今では観光地として人気の小笠原諸島ですが、江戸時代までは人が足を踏み入れたことのない未知の世界でした。

西堀榮三郎記念探検の殿堂では、今回取り上げる嶋谷市左衛門のように、未知を探りしらべ、その成果を広く知らせた人物 50人を「探検家」として顕彰しています。

東近江市 西堀榮三郎記念探検の殿堂

東近江市横溝町 419 番地
電話 0749-45-0011
IP 電話 050-5802-2291
大人 300 円 小中学生 150 円
※東近江市民は無料



公式ウェブサイト

